

1月10日
本部会議室
出席委員等10人

第2弾の日程を検討 仙台共生の森、空港東側海岸で

東日本大震災で被災した海岸防
災林を復旧させる、林野庁の「み
どりのきずな再生プロジェクト」
の一環として、仙台湾沿岸地区海
岸防災林（宮城県名取市台林国有
林）の再生のための植林に参加す
ることになり、日程などを検討した。
すでに日遊協は同プロジェクトに
沿って、昨年5月17日、仙台市荒
浜地区0・16ヘクタールで「日遊
協 仙台共生の森」としてクロマツ
770本、ヤマザクラ70本を植林
し、順調に生育させている。今回

約10ヘクタール。応募者が多かつ
たため同管理局が調整して、日遊
協の担当は0・2ヘクタールに決
まった。植える苗木はクロマツ。
社会貢献・環境対策委員会のメン
バーと日遊協ボランティア派遣隊
が活動の中心となる。時期は前回
同様に5月下旬が候補に挙がっ
ている。

一方、2008年から埼玉県嵐
山町で進められている里山造成10
年計画「共生の森」は、現在植林
を終えて整備期間に入っているが、
間伐作業などを兼ねて子供たちの
ためのイベントを計画することに
なった。開催は10月下旬が候補に
挙がっている。

広報調査委員会

1月15日
本部会議室
出席委員等14人

新年度事業計画を討議 アンケート調査結果報告

2014年度の事業計画を審議
した。目下の事業計画案として、



2014年度事業計画を審議した広報調査委員会

業界への理解を図るために昨年4
月にスタートした「業界データベ
ス」の発展、「2014年パチン
コ・パチスロファンアンケート調
査」の実施、「業界CSR活動」
「広報誌編集のバックアップ」など
が挙げられている。また、2月末
締め切りで現在作品を募集中の
「パチンコ・パチスロ エッセー・
絵手紙コンクール」については、
かねてから継続か終了かの意見が
出されており、早急に方向を決め
ることになった。

冒頭、1月9日の定例理事会に
提出され承認された「2013年パ

チンコ・パチスロファンアンケート
調査」報告書の詳細が説明された。

遊技機委員会

1月17日
本部会議室
出席委員等9人

過去名機のリストアップ フェスタ2014準備

4月25、26日、東京・ベルサー
ル秋葉原で開催予定の「パチンコ
&パチスロフェスタ2014」の
準備・運営に関して、各担当パー
トでの進捗状況が報告された。ま
た過去名機のコーナーに展示され
る機種候補がリストアップされ、
選定について話し合った。

フェスタは、初日の4月25日が
遊技業界関係者対象で、現行遊技
機、遊べる遊技機及び過去名機の
コーナー、セミナーイベント、パ
チンコ&パチスロ遊技機アワード
表彰式、設備機器展示会などが予
定されている。翌26日は一般のフ
アン（元ファン、未経験者を含
む）対象のイベントが開かれる。
また、4月26、27日に幕張メッセ
で開かれる「ニコニコ超会議3」と
連携し、同会場の一角をフェスタの
サテライトブースと銘打って遊技機
を出展する計画も検討されている。



植林の募集対象地区

の植林は東
北森林管理
局の募集に
応じたもの
で、「日遊
協 仙台共
生の森」第
2弾となる。
募集の対
象箇所は仙
台空港東側
海岸沿いの

人材育成委員会

1月10日
本部会議室
出席委員等11人

就活解禁時期への対応 講師を招き フォーラム

今年度最後の人材育成フォーラム（通算10回目）は、「平成26年度の就活解禁時期の繰り下げとその対策」をメインテーマに、2月14日午後1時30分から本部会議室で開催することを確認した。同フォーラムは、日遊協会員企業の人

事担当者が参加し、それぞれの社が抱える人事・教育等に関する課題について、他社の担当者たちと意見交換の中で解決のヒントを見つける場として、毎年度3回のペースで開かれている。

今回は、(株)マイナビのマイナビ編集長、三上隆次氏の講演が予定



人材育成フォーラムなどを話し合った人材育成委員会

セキユリティー対策委員会 昨年、攻略法問い合わせ5件 業界の撲滅キャンペーンが効果

第75回セキユリティー対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会

長）は1月21日、日遊協本部会議室で開かれた。遊技産業不正対策情報機構（PSIO）要綱の現状に即した改訂案は、昨年11月の同委員会に提出済みだが、細部の表現で不統一が見つかったため、もう一度調整して次回の委員会（2月25日）に再提出することになった。4月1日施行を予定している。

また、昨年1年間のパチンコ・パチスロセーフティーネットへの攻略法詐欺問い合わせ件数は5件



セキユリティー対策委員会の冒頭、挨拶する山田委員長（立っている）

との報告があった。問い合わせ件数は2010年の96件をピークに翌11年から激減し、以後も減り続けていることから、「攻略法詐欺撲滅キャンペーン」など業界の対応策に効果が出ていることが確認された。

後半のフリートークキングの中で、業界横断的に設置されている複数の会議の在り方について意見が出された。業界横断的な会議とは、セキユリティー対策委員会、ゴト対策4団体会議、同5団体会議、中古機流通協議会、遊技機リサイクル推進委員会などで、いずれも不正排除や健全化について、さまざまな角度から検討する必要性があったために設置されているが、最近では審議内容の重複が目立つと

いう指摘が出ていた。ただ、性急な統廃合よりも、今ある問題に対してどうしたら一番きちんと対応できるのかを第一に考えていくべきだとの意見も出された。

不正対策室会議 13年は情報7600件 不正項目の比率は変わらず

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は1月17日、日遊協本部会議室で委員ら14人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について検討した。

2013年12月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から35件、一般ファンから655件の入力があった。一般ファンの入力は、2012年12月と比べると202件（2012年12月453件）増えている。2013年のクロスドネット（各団体からのゴト情報）も含まれた情報入力の総計は7600件となり、前年の7173件より427件増えた。2013年と2012年の不正種類別集計の項目別比率はほとんど変わっていない。